

第 11 表 府 県 別 民 有 地

本表は全国の各市町村（東京都では区）が保管している土地台帳または土地補充課税台帳に登録された土地のうち、地方税法第5条、第343条及び第344条の規定により課税の対象となる土地にかんする各年1月1日現在の数字である。

府 県	総 数	田	畑	宅 地	山 林	牧 場	原 野	塩 田
昭 和 27 年	14 768 335	3 012 732	2 657 376	513 783	7 135 128	...	1 445 097	4 219
28	14 874 955	3 011 461	2 659 401	515 016	7 070 596	162 731	1 451 672	4 079
29	14 894 863	3 014 164	2 674 801	521 850	7 041 891	168 960	1 469 493	3 705
北 海 道	2 492 035	157 591	640 055	24 167	866 034	184 670	649 519	-
青 森 手 城 田	311 053	69 456	67 880	8 938	94 273	2 857	67 648	-
岩 手 宮 城 田	643 267	64 122	79 361	10 951	377 864	3 403	107 566	-
秋 田 田 子 城 田	271 416	97 498	42 288	11 165	110 187	26	10 200	53
山 形 形 島 城 木 馬	267 108	108 580	28 014	9 673	74 451	32	46 358	-
福 岡 山 福 茨 栃 群	309 399	93 458	40 394	9 764	136 046	-	29 737	-
山 形 形 島 城 木 馬	498 190	101 344	88 215	12 905	261 620	31	34 074	-
山 形 形 島 城 木 馬	398 567	94 193	128 837	20 444	139 834	152	15 108	-
山 形 形 島 城 木 馬	333 252	76 342	71 472	13 876	155 796	1 611	14 155	-
山 形 形 島 城 木 馬	261 561	35 005	85 686	12 115	106 422	1 300	21 033	-
奈 良 玉 葉 京 川 瀨	244 668	67 097	93 696	19 189	60 416	-	4 270	-
奈 良 玉 葉 京 川 瀨	344 395	102 903	86 104	19 039	117 704	1 585	17 159	-
奈 良 玉 葉 京 川 瀨	110 703	8 659	33 713	30 286	35 472	2	2 569	-
奈 良 玉 葉 京 川 瀨	138 411	19 350	44 909	16 237	50 834	436	6 645	-
奈 良 玉 葉 京 川 瀨	471 499	177 264	58 330	17 432	202 331	-	16 143	-
富 山 山 川 井 梨 野	144 689	77 015	11 649	6 981	46 307	-	2 736	-
富 山 山 川 井 梨 野	157 832	53 330	16 505	5 981	78 444	-	3 549	24
富 山 山 川 井 梨 野	173 813	47 490	10 235	5 128	108 470	67	2 462	-
富 山 山 川 井 梨 野	123 146	18 908	32 996	4 828	53 856	-	12 559	-
富 山 山 川 井 梨 野	421 803	76 822	95 090	14 126	142 621	1 708	91 435	-
岐 静 愛 三 滋 京	476 321	65 075	35 816	9 728	355 433	6	10 264	-
岐 静 愛 三 滋 京	420 445	58 411	70 678	15 088	250 398	-	25 872	-
岐 静 愛 三 滋 京	266 373	90 736	57 848	23 393	91 021	-	3 374	-
岐 静 愛 三 滋 京	283 543	70 095	29 613	9 315	171 135	-	3 384	-
岐 静 愛 三 滋 京	166 809	58 988	8 281	6 347	90 207	-	2 985	-
岐 静 愛 三 滋 京	163 959	40 518	15 607	8 546	96 810	-	2 478	-
大 阪	86 912	40 781	9 258	16 760	19 313	-	801	-
兵 奈 和 庫 良 山	422 559	101 876	20 095	17 851	275 298	6	6 852	631
兵 奈 和 庫 良 山	147 538	30 044	9 450	3 858	100 028	-	4 158	-
兵 奈 和 庫 良 山	263 419	26 843	15 700	4 465	215 228	-	1 184	-
鳥 島 岡 山 取 根 山 島 口	141 518	33 074	15 548	3 846	60 716	146	28 188	-
鳥 島 岡 山 取 根 山 島 口	401 627	53 206	26 288	5 472	313 283	14	3 363	-
鳥 島 岡 山 取 根 山 島 口	321 510	85 546	32 609	10 468	188 161	10	4 324	392
鳥 島 岡 山 取 根 山 島 口	444 265	72 468	31 549	10 750	326 194	1	2 879	424
鳥 島 岡 山 取 根 山 島 口	282 584	70 298	21 624	10 006	174 857	-	5 314	485
徳 香 愛 高 島 川 媛 知	207 068	27 391	23 329	4 732	150 561	-	694	360
徳 香 愛 高 島 川 媛 知	105 344	37 710	12 365	5 502	48 738	-	194	836
徳 香 愛 高 島 川 媛 知	283 582	43 597	45 640	7 269	185 275	-	1 513	287
徳 香 愛 高 島 川 媛 知	326 829	34 045	47 807	3 642	238 884	-	2 451	-
福 佐 長 熊 大 岡 賀 崎 本 分	285 528	105 524	32 049	19 467	72 809	2	25 631	47
福 佐 長 熊 大 岡 賀 崎 本 分	133 810	53 167	17 183	4 968	38 041	-	20 451	-
福 佐 長 熊 大 岡 賀 崎 本 分	168 309	32 036	52 258	6 831	61 286	-	15 898	-
福 佐 長 熊 大 岡 賀 崎 本 分	266 081	75 977	80 996	11 481	72 251	688	24 693	5
福 佐 長 熊 大 岡 賀 崎 本 分	197 369	54 653	34 710	7 475	62 248	-	38 142	140
宮 鹿 児 崎 島	209 383	46 164	48 037	7 767	76 555	24	30 837	-
宮 鹿 児 崎 島	335 371	59 702	125 043	13 597	88 180	182	48 645	22

第 2 章  
気 象

(注) 単位：町。資料 自治庁税務部市町村税課「土地平均価額、総地積、総価額等一覧」。

## 第 2 章 気 象

## (1) 昭和30年夏季の異常高温と寡雨

昭和29年の梅雨期は一般にオホーツク海高気圧が異常に優勢を示し、7月下旬においてもなお千島附近に張り、北日本はもとより近畿、中国、四国地方においても5月中旬から7月末にかけて低温、多雨をもたらした顕著な異常の年であったが、続く昭和30年は昨年とは全く逆に6月から8月上旬すぎにかけて気温は異常な高温を呈し（既に春の初め頃から気温は一般に平年より高目を続けていた）特に、中部日本以北の各地では7月の月平均気温が観測開始以来の新記録となったところが多くあらわれ、近畿地方でも6月、7月の月平均気温が共に1~2°C前後高目となってあらわれた。また、近畿地方では全般的にみて6月から7月上旬にかけての本年梅雨期の降水現象はほぼ順調で総雨量も農家にとっては十分な量であったが、7月中旬から8月中旬にかけては7月22~23日の降雨のほかは全般に及んで雨がなく、その上、局地的な夏の雷雨による降水も比較的少なく連日晴天が続いたので、紀伊半島南部を除いて各地に水不足が起り、局地的にはカンバツの懸念が生ずるに至った。

本年の気圧配置は6月上旬から7月上旬にかけて一般に本邦南方海上の気圧は例年どおりかなり高目を示し、一方オホーツク海方面では例年よりかなり低い値を示している。このように本年梅雨期はオホーツク海高気圧はあまり発達せず、小笠原高気圧が優勢を示し、6月下旬になって梅雨前線は本邦の日本海側にあることが多く、下旬末には夏型の気圧配置となり、7月上旬に入ると本邦南方海上の高気圧の勢力はますます強く盛夏の気圧配置を呈するに至った。しかし、7月上旬半ばには一時この高気圧が東方へ後退し、梅雨前線は山陰地方で活動したが、再び高気圧は勢力をもちかえして来たため、例年よりもやや早く7月9日頃西日本の梅雨は完全に明けた7月中旬から7月下旬にかけては本邦南方の高気圧は北偏して、三陸東方洋上より本邦をおおい南方海上には豆台風が連続したが、西日本には殆んど影響なく好天と酷暑が続いた。7月下旬半ば頃になって南方海上の豆台風の連続は収まり、8月上旬にかけては気圧配置は再び南高北低となった。8月中旬に入ると大陸方面から高気圧が東進し、その中心が16日頃まで日本海にあり、本邦は高気圧におおわれて好天を持続した。8月17日には日本海の高気圧は本邦南方洋上の高気圧と合体し、高気圧の中心が本邦の南方へ移った。8月下旬に入ると大陸から移動性高気圧が東進して来るようになり8月21日と31日頃気圧の谷が本邦を通過し、また、27日から29日にかけて台風の華南方面で衰弱したものが東支那海を北東進するなど、西日本には度々降雨があるようになり、気温も一般に平年並みとなった。本年夏期の高温について大阪を例にとれば、6月

の始めから8月12日まで殆んど連日平年より気温の高い日が続き、本年6月の月平均気温は1883年の創立以来今年までの73年間において2番目の高温を示し平年より1.8°C高く、7月は同じく4番目の高温で平年より16°C高目を示した。すなわち、8月中旬までの間に6月2日、11日、21日、7月6日、23日、8月14日、22日頃平年より低温があらわれており、6月4日~10日、6月12日~18日、6月22日~7月3日、7月8日~21日、7月30日~8月12日は平年より高温となっており、これはかなり長い期間にわたって連続していることがわかる。また、降水量は6月上旬~7月上旬は各地とも平年に近く、農家にとってはほぼ十分な雨量であったが、7月中旬は殆んど雨がなく晴天続きで日照時数も彦根、豊岡等では150%を越え全般に多照となった。7月22日~23日の雨は四国で60mm、近畿で50mm、瀬戸内海30mm、山陰10mm程度に達した。その後また、8月20日頃まで各地とも殆んど雨らしい雨もなく連日晴天が続き、8月上、中旬の日照時数平年比は一般に120%内外を示し、かくて各地に5~10年位に一度起る程度のカンバツが起った。

本年夏季の気圧配置の特徴を列挙すると、本年梅雨期はオホーツク海高気圧の勢力は平年に比べて弱く、6月下旬に夏型の気圧配置となった。平年の夏における南高北低型の気圧配置に比べ甚だ異状を示した。7月中旬から下旬にかけて本邦南方洋上の高気圧は北偏して、三陸東方洋上より本邦をおおいこの期間に北緯20度~30度近辺で豆台風が連続した。しかし、いずれも本土には殆んど影響がなかった。8月中旬には日本海に背の高い高気圧が張り、本邦をおおい連日晴天が続いて夏の俄雨が殆んどなかった。

農作物に及ぼした影響はかなり顕著な日照りが続き、8月中旬に入ると各地にかなりの水不足が起り、中旬の末には水利の便の悪いところでは局地的に水稲に旱害が発生し始め、雨乞いの行事を行うところも出て来た。8月19日現在の大阪府下の水稲旱害状況は田面が白く乾き亀裂を生じていたもの905町歩に達し、蔬菜と果樹類で約1割の減収予想であったが、8月下旬に入ると順調な降雨があり、水不足は解消し旱害を受けたものもたち直り、9月における水稲の成育状態は一般的に平年次を約1割方上回る大豊作が予想せられるようになった。これは春からの高温による稲苗の成育状態が良好であったこと、梅雨期の雨量が十分であったこと、夏の日照りによる高温と多照などの好条件にめぐまれたためであろう。また、旱害の少なかったことは植付頃余り水を使はなかったこと、貯水池の集水容量が大となって備荒措置が従来より整ってきたことに起因しており、被害を受けた土地はこれら給水源を持たない山沿いや谷間などのような局地であった。全般的にみた結果としては今夏の高温、寡雨、多照の気象状態が幸いして、稲作は近年稀な大豊作となったようである。

第 1 表 大 阪 管 区 気 象 台

本表は「大阪気象要覧」によつたものである。

位 置	経 緯 度		海面上高 米	創立年月日 年月日	主要機器位置
	東 経 度	北 緯 度			
大阪市生野区勝山通9丁目72	135.32	34.39	6.7	明治15.7.1	水銀気圧計(海面上) 8.0 温 度 計(地面上) 1.5 碗形風速計(地面上) 18.6 自記風圧計(地面上) 18.8 雨 量 計(地面上) 0.2 自記雨量計(地面上) 2.7 露場海面上の高さ 6.7

(注) 資料 大阪管区気象台。

第 2 表 大 阪 の 気 象 概 況

本表は「大阪気象要覧」によつたものである。気圧はm. b.であらわしm. m.に換算するには0.76をかける。(例) 1000 m. b.=750m. m. 気温は°Cであらわし日平均値は(3. 6. 9. 12. 15. 18. 21. 24時)の8回、最高は0~24時、最低は前日9時~当日9時の日界である。湿度は相対湿度と呼び日平均値(3. 9. 15. 21時)の4回、最小は自記紙より記入する。曇量は0~10の目測により日平均値は(3. 9. 15. 21時)の4回で日平均7.5以上は曇、同2.5未満は快晴日数による。風速はm/sで0~24時の全行程から日平均値を最強は10分平均値、風向16方位風速0.5以下は静穏とす。降水量は前日9時~当日9時の日界、毎時の表は0~24時の日界、単位は水の溜つた深さをm. m.であらわす。日照時数は真太陽時による。時以下は分数/10法による。したがつて日合計8.4は8時24分の意味である。

年 月	平均気圧	気 温 (°C)			相 对 湿 度 (%)	平 均 雲 量 0~10	風 速 度			降 水 量		日照時間 総 (時)
	基準面 MB+1000	平均 (8回)	最高	最低			平均速度 (米/秒)	最強風向	最大速度	総量 (mm)	最大時量	
平 年	15.2	15.1	19.9	10.8	74	6.0	2.7	NE	29.8	1332.4	63.8	2188.9
昭 和 30 年	15.2	16.0	20.8	12.0	70	5.9	3.1	W	18.0	1271.4	33.0	2176.4
1 月	20.0	4.1	8.2	-0.3	65	5.0	4.0	W	14.9	65.8	3.8	154.2
2	19.2	6.2	11.2	1.9	67	5.4	3.3	WSW	18.0	89.9	12.7	159.6
3	18.1	9.4	13.8	5.8	71	7.7	3.0	WSW	13.2	140.5	4.2	119.6
4	15.7	14.4	19.5	10.2	69	6.2	2.8	SW	14.9	181.2	15.5	175.6
5	12.4	18.7	23.7	14.2	70	6.5	2.9	WSW	12.2	125.6	20.1	196.6
6	9.0	23.7	28.2	20.2	77	8.0	3.0	SSW	14.5	164.3	11.5	167.4
7	9.3	27.9	32.2	24.4	72	5.3	3.5	ESE	11.8	98.3	33.0	265.2
8	9.2	27.7	32.7	23.6	69	5.3	2.9	NNE	8.7	78.3	14.5	239.1
9	12.2	24.0	29.2	20.0	71	6.4	2.9	WSW	11.0	65.2	12.6	191.5
10	17.0	17.7	21.8	14.5	73	7.0	3.2	NNE	16.1	187.8	12.3	142.1
11	19.9	10.8	16.2	5.8	69	3.9	2.4	NE	14.5	53.0	10.0	192.5
12	20.0	7.9	12.8	3.3	71	4.2	2.8	W	10.0	21.5	6.2	173.0

(注) 資料 大阪管区気象台。

第 3 章  
人 口